



第 689 号

2017年7月5日
(平成29年)

もうすぐ楽しい夏休み！
夏休み前の一日を、様々な体験が詰まったブースでスタンプラリーをしながら、公民館で過ごしませんか？

自由研究に役立つような工作・音楽体験、健康・安全のお話、お菓子作りなど、もりだくさん！
地域で活躍するおとなたちのお話の中にも、新しい発見や夏休みの宿題へのヒントがきっとあるはず！

講師は、日ごろ市内で活動されている方々です。ぜひ、遊びに来てください。

◆対象 小学生（未就学のお子さんが参加できるものも有）
*申し込みは不要です。
*ご自由においでください。
◆協力 公民館利用者連絡会

発行
国立市公民館

〒186-0004
国立市中1-15-1
TEL 042-572-5141
FAX 042-573-0480
休館日：毎週月曜日

おなか元気教室&ヤクルト容器工作

腸ってどのくらいの長さ？おなかマスターに、おなかの健康の話をお聞きしましょう。お話の後はヤクルトが飲めるよ！
ヤクルトの空き容器を使った工作をしてみよう。自由研究のヒントが見つかるかも！
おなか元気教室のじかん：①朝10時半～②昼1時半～
工作のじかん：朝10時～昼2時半
ところ：公民館 3階講座室
講師：おなかマスター
(西都ヤクルト販売株式会社)
*食物アレルギーのあるお子様はご確認ください。



ピアノ/クラリネットに合わせて演奏しよう!

ピアノとクラリネットによるミニコンサートです。「ヤクルト容器工作」で作った楽器を使って、演奏に参加してみませんか。きれいな音色を一緒に楽しもう！(ミニコンサート曲目:「さんぽ」、「美女と野獣」など)
音あそびのじかん：朝10時半～
コンサートじかん：昼2時半～3時
ところ：公民館 1階ロビー
講師：ピアノ 大和田ようこ
クラリネット 小林鮎美

プレスレットやストラップを作ろう!

革に好きな色を塗って、編み込んで、世界にひとつだけのプレスレットやストラップをつくってみよう。会場にはおしゃべりロボット「マグポット」もくるよ。
会いに来てね！
じかん：朝10時～昼2時半
ところ：公民館 3階集会室
講師：Chika-ba [ちかば]

オリジナル水ようかんを作ろう!

ささ舟のうつわに、水ようかんと、好きな型で作ったカラフルなゼリーを浮かべ、自分だけのオリジナル水ようかんを作ってみよう！
じかん：朝10時～昼2時半
ところ：公民館 3階実習室・和室
講師：心遊会
*食物アレルギーのあるお子様はご確認ください。

ジグソーパズルを作ろう!

ダンボールに絵を描いて、いろいろな形に切ってジグソーパズルを作ってみよう。いくつに分けるかで、むずかしさも変わってくるよ。お話会ではどんなお話がとびだすかな……お楽しみに！
お話会のじかん：朝11時～
工作のじかん：朝10時～昼2時半
ところ：公民館 1階ロビー
講師：まめっちょ

こども自転車免許証をもらおう!

夏休みを楽しく安全に過ごせるように、自転車の交通安全のルールを学ぼう！
簡単なクイズに答えたら、「こども自転車免許証」がもらえるよ！
じかん：朝10時～昼2時半
ところ：公民館 地下ホール
講師：くにたちまちづくり∞自転車倶楽部
(協力：くにたちcycle)

朗読講座
ことばを楽しむ

講師 石井 和子 (フリーアナウンサー、気象予報士、白山朗読の会主宰)

朗読は、作品のことば・文章が表している情景や心情を考えながら、また自分の中の気持ちとイメージを広げながら、それを聞き手に伝えるものです。この講座では、口のうごきや腹式呼吸など声を出す練習から始まります。テキストは童話やエッセイなど、親しみやすいものをご用意しています。

最近あまり大きな口を開けて話していないな……、もっと誰かにことばを伝えてみたいな……など、初心者の方もぜひご参加ください。

講座が終了したあとは、「くにたち市民文化祭」開催期間中(11月)に発表会を予定しています。

作品のことばひとつひとつが持つ美しい音・リズムを、みなさんも体で味わってみませんか。

テキスト

- 『きつねの窓』(安房直子)
- 『母の写真』(吉永みち子)
- 『外郎売り』(歌舞伎十八番のひとつ)

*テキストは印刷したものをこちらで用意します。

と き 7月14・28日、8月25日、9月8・22・29日、10月13・27日(全8回)
 いずれも金曜日、昼2時~4時

ところ 公民館 地下ホール

定員 20名(申込先着順)

申込先 7月7日(金)朝9時~
 公民館 ☎(572) 5141

シネボックス 公民館映画会
『ジュラシック・ワールド』
 JURASSIC WORLD

2015年 アメリカ カラー 125分
 ※DVD/日本語吹替版

監督 コリン・トレボロウ
 製作総指揮 スティーヴン・スピルバーグ、トーマス・タル
 キャラクター原案 マイケル・クライトン
 出演 クリス・プラット、ブライス・ダラス・ハワード、
 ヴィンセント・ドノフリオ ほか



©2016 Universal Studios. All Rights Reserved.

スティーヴン・スピルバーグが、世界中の人々を驚嘆させたあの『ジュラシック・パーク』が、さらにパワーアップしてリニューアル! お馴染みのティラノサウルスやラプター、トリケラトプス、ステゴサウルスら恐竜界の大スターが画面狭しと大暴れ! 海の王者モササウルスも大活躍! 悪魔の恐竜インドミナス・レックスとは!?

と き 7月23日(日) 昼2時~(開場1時)
 ところ 公民館 地下ホール 定員 85名(当日先着順)
 *ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。

時間帯別会場利用率は以下の表のとおりです。
 ホールの利用率がすべての時間帯で90%を超えて最も高く、次に音楽室と集会室が平均80%以上で、そのあと、小集会室、講座室、中集会室、和室、実習室の順に続きます。和室と実習室は、和室用の椅子や実習室の間仕切りを使うことで、会議室の代替としても利用できる場所となっています。

公民館では多くの方に会場を利用していただけるよう、毎月第一土曜日に会場利用調整会を公民館利用者連絡会の協力のもと開催しています。詳しくは公民館までお問い合わせください。

平成28年度
公民館の施設利用状況について

公民館は社会教育施設として、主に市民で構成されるグループ・団体に会場を貸し出しています。活動する目的や人数に応じて、大・中・小の集会室、講座室、ピアノのあるホールと音楽室、調理のできる実習室、着付けやお茶のできる和室など8つの部屋があります。

平成28年度のサークル・団体での利用は5,511回、延べ60,084人に利用されました。公民館主催事業を合わせると6,290回、延べ73,890人となりました。

■平成28年度 時間帯別会場利用率 (単位: %)

時間帯	会場(定員)	ホール(85名)	音楽室(20名)	集会室(30名)	講座室(35名)	中集会室(20名)	小集会室(10名)	和室(20名)	実習室(10名)
午前		90.6	81.6	83.4	81.0	85.0	85.6	79.1	78.5
午後		91.2	88.3	91.2	91.0	88.7	82.2	77.6	82.6
夜間		92.9	82.5	68.1	64.3	58.8	71.1	53.7	41.9

(注) 利用率の算出処理上1日の利用時間を、午前、午後、夜間の3区分に整理。1区分に複数回の利用があっても1回分の利用とみなして利用回数を算出し、この算出数を年間開館数で割り、利用率を算出している。

一橋大学大学院言語社会研究科と連携しています!
 2017年3月末、公民館と一橋大学大学院言語社会研究科の間で、「連携協力のための覚書」が取り交わされました。近年、公民館では、言語社会研究科で積みあげられてきた豊かな「人文学」の研究成果と、市民の社会教育・生涯学習との相互の交流・発展を目指して、さまざまな連携事業を実施してきました(下表参照)。これまでの連携企画でいつもご尽力いただいた一橋大学教授・武村知子さんに文章を寄せていただきました。
 ぜひ7月の「院生講座」にもお気軽にご参加ください!

2013年以来、一部の教員および大学院生を中心に、公民館と、市民のみならずとの協同によるさまざまな企画がヴォランティアに試みられてきました。大学という開いの外へ踏み出して、多様な学問の営みを、すぐ外側にひろがっている地域社会の営みにどうしたら自然に、しなやかに接続できるだろうか? その手さぐりの試みのなかで、市民のみならずの広やかな暖かさを感じ、そのつと教員も学生も身の引き締まる思いをしながら、大学院で学ぶことはまた異なったさまざまなことを日々学んできました。
 国立市公民館が確固たる伝統をもつ筋金入りの公共活動母体であるのにひきかえ、一橋大学大学院言語社会研究科は総勢たったの16名、2016年度に創立20周年を迎えたばかりです。ここ公民館で与えられる貴重な経験に報いるだけのものをきちんと提供してゆけるかどうか、それは私たちに課される重い課題ですが、「社会科学の総合大学」一橋大学の片隅で「人文学」をこととする私たちの営為は、おそらくいかなる学問にも増して、誰もが日々の生活の中で学びとろうとするさまざまなものと密に接続しているはずだと確信しています。共に手を携えて他にはない経験の場をつくり、その経験を可能な限り豊かなものにしてゆければと、一同ここから願っている次第です。
 今回の覚書取り交わしをひとつの節目として、その願いがさらに広く遠くまで届くようになるならば、このうえなく嬉しいことです。ささやかなことも深淵なことも人生の奥底で共有しながら、異なる視点を織り交ぜて、一緒に広い世界を探究してゆきたいと思えます。
 一橋大学大学院言語社会研究科 武村 知子

「人間の性質」の改良の思想
 ―優生学を考える―

講師 ホワニシャン アストギク (一橋大学大学院生*)

20世紀、ユートピア的な「すばらしい新世界」を約束する学問・思想が世界各地で影響力をもっていました。それはなんと「人種改良」「人間改良」を目指す優生学でした。各地で「ふさわしい家族コンテスト」や「優生結婚相談」が実施され、「劣った人間」の数を減らすために差別的な法律(断種法)が成立しました。優生学はなぜ世界各地で広がり、人々はなぜこの思想に魅力を感じていたのでしょうか。優生学の考え方に基づいた強制不妊手術は20世紀末になっても行われていましたが、その歴史に照らしたとき、例えば現在の出生前診断はどう考えるべきなのでしょうか。本講座では、これらの問いについて考えます。初回は優生学のあらゆる側面について取り上げ、2回目は日本の断種法や戦後日本で行われた優生手術について検討します。

と き 7月16日、30日(全2回)
 いずれも日曜日、昼2時~4時
 ところ 公民館 3階講座室
 定員 35名(申込先着順)
 申込先 7月7日(金)朝9時~
 公民館 ☎(572) 5141

*一橋大学大学院生による講座
 国立市内の一橋大学では、研究者を目指す大学院生が日夜研究に励んでいます。そこで公民館が架け橋となり、若手研究者と地域社会との交流講座を企画しました。院生が講師となって専門分野をご紹介します。



(前列左から) 一橋大学大学院言語社会研究科長と国立市公民館長

【これまでの連携事業のあゆみ】

- 2013(平成25)年 1月 国立市民、一橋大学教員・大学院生、公民館職員による自主勉強会「くにたちPoD」スタート
- 2014(平成26)年 2月 〈院生講座〉第1弾 映画の音響効果学 ―見えない声から何が見える?―
- 2015(平成27)年 1~3月 〈連続講座〉「寛容」について学び、伝え、考える
- 2016(平成28)年 1~3月 〈連続講座〉「クリーンなもの」と「クリーン」でないもの ―今日の「不寛容」について考える
- 2017(平成29)年 1~3月 〈連続講座〉街角にいつも「大学」がある ―くにたち教養マッピング

※この間、1年に3回程度、「院生講座」を実施。
 ←左記、第10弾の院生講座のご案内です。
 ※これまでの実績の詳細をまとめた冊子等がありますので、公民館までお問い合わせください。(写真参照)

〈図書室のつどい〉

宇宙には、だれかいますか？

～「地球外生命」を探る最新研究～

お 話 関根 康人 (東京大学)

夜空に輝くたくさんの星を見たとき、この広い宇宙には私たちのような生命体がいる惑星もあるのではないかと……と思った人も多いのではないのでしょうか。最近では土星の衛星エンケラドスに「地球外生命」の可能性を示唆するNASAのニュースもありました。

惑星の大気や海洋などの生命を育むために必要な要素に着目し研究している関根さんに、惑星の進化と生命存在の可能性など最新の研究動向をうかがいます。

〈関根さんの著書・共著書など〉
『土星の衛星タイタンに生命体がいる！』(小学館)、
『系外惑星の事典』(朝倉書店)、『科学者18人にお尋ねします。宇宙には、だれかいますか？』(河出書房新社) 他

と き 7月30日(日) 昼2時～4時
ところ 公民館 地下ホール 定員 80名(当日先着順)
*申し込み不要です。ご自由においでください。

〈平和と暮らしを考える・ドキュメンタリー映画上映会〉

『チャルカ—未来に紡ぐ糸車—』

—放射性廃棄物 = 「核のごみ」問題を考える—

監督 島田 恵 2016年 カラー90分

東日本大震災によって起きた福島第一原発事故は、私たちの暮らしに大事なものは何かを問い続けています。原子力発電所は、使用済核燃料をはじめとして、大量の放射性廃棄物を生み出し、その処理をめぐる問題を抱えています。本作品は、高レベル放射性廃棄物の地層処分研究施設のある北海道幌延町の隣町で酪農を営む久世薫嗣さん一家の生き方を軸に、「核のごみ問題」の現在を映しています。そして、世界で初めて放射性廃棄物の地下処分施設が建設中のフィンランド、放射性廃棄物最終処分計画地のある原子力大国フランス、さらには新しいエネルギーや暮らしのあり方が、多様な視点から描かれています。

「チャルカ」とは、インドの手紡ぎ糸車のことです。インド独立の父・ガンジーはイギリスの支配から独立するために、自国で生産した綿花を自分たちで紡ぎ、その糸で布(カディ)を織ろうと提唱しました。

私たち一人ひとは、未来をどう紡いでいくのか。上映終了後、同映画監督・島田恵さんにお話を伺いながら、考えてみたいと思います。

〈上映後のお話〉

島田 恵

(『チャルカ』監督、写真家、ドキュメンタリー映画監督)

と き 8月6日(日) 昼2時～5時
ところ 公民館 地下ホール
定 員 85名(先着順)
*ご自由においでください。ただし、定員を超えた場合は入場を制限させていただきます。



〈憲法講座〉

映画から学ぶ憲法

～集会の自由、監視されない社会とは～

講 師 志田 陽子 (武蔵野美術大学、憲法学)

国会では組織的犯罪処罰法改正案が可決され、政府は同法が国民の生命や安全を確保する国連国際組織犯罪防止条約の批准に必要と説明。一方それは、憲法が保障する内心の自由を侵害する可能性が高いことを危惧する声もあります。

そこで今回は、集会の自由や監視されない社会の実現に向けた作品を取り上げます。講座では、映画を素材に憲法に込められたメッセージを思い描き、読み解くことを目指します。いつもと違う手法で改めて憲法を考えたいと思います。

作品名 『ガンジー』『グローリー—明日への行進—』『マンデラー—自由への長い道—』『トランボ—ハリウッドに最も嫌われた男—』 他
と き 8月5日(土) 昼2時～4時
ところ 公民館 3階講座室 定員 30名(申込先着順)
申込先 7月13日(木) 朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

〈格差と貧困〉

「子どもの貧困」の現在

～わたしたちにできること～

講 師 小田川 華子 (首都大学東京)

最近、「子どもの貧困」に世の中の注目が集まっています。子どもの貧困率は悪化し続け、18歳未満のおよそ6人に1人、300万人あまりが貧困状態にあるとされています。一方で子どもの貧困対策も動き出しています。「子どもの貧困対策法」の施行から3年が経ち、自治体の取り組みも始まっています。また、民間・市民による「学習支援」や「子ども食堂」といった取り組みも全国各地で広がってきています。

しかし、「子どもの貧困」はこれまで一般的なテーマとして取り上げられてきませんでした。「なんとかしなければいけない」ということは理解されても、その方法や優先順位などに対する考え方はさまざまです。また、実態が「見えにくい」ため偏見などが生じやすく、貧困問題への対応はある種の対立や論争を常にはらむものでもあります。そこで今回は、子ども・若者の貧困問題の先端的な研究拠点である首都大学東京「子ども・若者貧困研究センター」で社会福祉学を専攻する小田川さんに、お話を伺います。この問題の全体像、各地の取り組みの現状と課題を共有しながら、わたしたちにできることを、一緒に考えたいと思います。

と き 7月27日(木) 夜7時～9時
ところ 公民館 3階講座室 定員 35名(先着順)
申込先 7月11日(火) 朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

と き 7月27日(木) 夜7時～9時
ところ 公民館 3階講座室 定員 35名(先着順)
申込先 7月11日(火) 朝9時～
公民館 ☎ (572) 5141

〈くにたちブッククラブ 世界の軌芯音を聞く〉

村田沙耶香『殺人出産』(講談社文庫)

講 師 小平 麻衣子 (慶應義塾大学・日本近代文学)
と き 7月13日(木) 夜7時半～9時半
ところ 公民館 3階講座室
申込先 公民館 ☎ (572) 5141
*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読み出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

第62回くにたち市民文化祭

—総合美術展のお知らせ—

実行委員会企画「総合美術展」を以下の日程で開催します。会場は公民館です。

◆期間 11月14日(火)～11月19日(日)
募集要項は8月1日以降、次の施設に置いてあります。皆様のご応募をお待ちしています！
【募集要項配布場所】
公民館、市役所総合案内、中央図書館、郷土文化館、芸小ホール、福社会館、北・南市民プラザ

ひろば

(6ページにもあります)



国立スイミングクラブ会員募集

ジュニアオリンピックピック優勝経験者が指導。『泳げるようになりたい』『上手に泳ぎたい』どんなお悩みも解決致します。体験可。

日時 毎週火曜日夜8時～9時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 土山 (576) 3200

水泳同好会会員募集

お水の恋しい季節です。若さと健康を保つ為に水泳を始めてみませんか。初心者からマスターズ水泳まで公認コーチが親切に指導します。年齢性別不問。体験可。

日時 毎週火曜日夜7時～9時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 石橋 (577) 2621

ジュニアソフトテニス講習会

プロコーチによる初心者から上級者までレベルに応じたレッスンです。ソフトテニス連盟。対象者・小学生、中学生、高校生、参加費無料。申込締切7月23日。日時 8月6日朝9時～予備13日
場所 広場テニスコート
連絡先 平野 (576) 7815 FAX 共

公民館ロビー“涼み処”にお立ち寄りください

夏の節電対策の一環として、また熱中症の対策として、ロビーを活用した“市民涼み処”を開設します。ぜひお立ち寄りください。



公民館運営審議会報告

6月13日(火) 第8回定例会を開催。委員14名、館長、職員2名が出席。傍聴2名。前回議事録確認、事務局説明、29年度予算・28年度実施事業について、報告事項及び協議事項
○公民館だより編集研究委員会 5月号 昨年度の各講座が5本の柱ことになり返りがされていたのが好評であった。また、シネボックスが好評で、映画会当日は120名程が集まり大盛況であった。6月号 表紙の「親子で遊ぶう・考えよう」の講座において、子ども達が意欲的に講座に取り組

フリージング・ヨガ会員募集

シヴァナンタ・ヨガをベースにしたリラクゼーションクラスです。ゆったりとした呼吸と動きで、年齢を問わず無理なく続けられます。ぜひ一度ご体験にお越し下さい。日時 木曜日朝10時40分
場所 中地域防災センター
連絡先 坂井070(5305) 3018

ジュニア短期水泳教室募集

29年度ジュニア育成地域推進事業。小学1～6年生対象。初心者から泳力別に公認指導員が担当します。参加費無料。先着80名。締切14日。国立市水泳連盟。日時 7月18～24日夕4時～6時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 堀 (576) 8381 (夜間)

ヘルシー体操サークル会員募集

いつまでも元気に生き生きと気持ち良く動ける身体づくり。身体を動かす喜びを一緒に分かち合いませんか？50代～80代の乙女？達が身体と脳のリフレッシュ！日時 毎週火曜日朝10時～12時
場所 総合体育館
連絡先 皆川090(8505) 6150

アクラクラブ

運動不足の方、健康な体づくりには水泳を始めてみませんか。初心者～上級者、泳力別にコーチの指導を受けて泳ぎます。男女問いません。体験可。日時 毎週金曜日朝10時～12時
場所 総合体育館 室内プール
連絡先 村瀬 (576) 2117

ひろば

(5ページにもあります)



今月の公民館 (7月、8月初)

*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 13日(木) 夜 くにたちブッククラブ 村田沙耶香『殺人出産』
- 14日(金) 昼～朗読講座 「ことばを楽しむ」
- 15日(土) *夏休み直前 ふれあいひろば
- 16日(日) 昼～院生講座 「人間の性質」の改良の思想
- 23日(日) 昼* CINEVOX公民館映画会 『ジュラシック・ワールド』日本語吹替版
- 27日(木) 昼 格差と貧困 「子どもの貧困」の現在
- 30日(日) 昼* 図書室のつどい 「宇宙には、だれかいますか？」
- 8月5日(土) 昼 憲法講座 「映画から学ぶ憲法」
- 6日(日) 昼* 平和と暮らしを考える・ドキュメンタリー映画上映会 『チャルカ―未来に紡ぐ糸車―』

「和みくらぶ」会員募集

24・48式太極拳に加え32式剣のレッスンを楽しく行なっています。初心者からレベルアップしたい方まで、是非体験してみてください。

日時 毎週金曜日 昼3時～5時半
場所 総合体育館 第三体育室
連絡先 長谷川 090(8303)7254

フランタンド

皆で楽しく歌いましょう。音楽科出身の先生の指導で季節の歌、愛唱歌、話題の歌など斉唱で歌っています。公民館から左記に場所を移して活動しています。

日時 毎月第四金曜日 朝10時
場所 生長の家神の国寮ホール
連絡先 青木 090(7262)6258

国立カントリー

混声合唱を楽しみませんか。音楽科出身の先生の指導でどなたでも楽しく歌えるようになります。笑いの絶えない元気の会です。楽譜の読めない方、男性も大歓迎。

日時 第一、三金曜日 昼1時
場所 矢川集会所
連絡先 三浦(572)1028

女声合唱メンバー募集!

A・カベラで、色々なジャンルの曲を歌っている、国立あひるグループです。発声で声が豊かになり、ハーモニが美しく響く至福の時間を一緒に体験しませんか!!

日時 毎週金曜日 午前又は午後
場所 公民館 地下ホール
連絡先 重見(576)4557

ガラス絵入門 受講者募集

美術サークル「わ」主催の入門講座です。講師は内外で活躍の美術作家・鈴蘭先生です。先着10名、土曜日午後、2時間30分、全4回、詳細はお問合せください。

日時 7月22日～8月19日
場所 公民館 講座室など
連絡先 小宮 090(4027)6974

ふだん着着物の会

着物やゆかたを持つていらっしゃるけれど、自分で着る自信がない方、着物に興味があるよという方、簡単な着付けと一緒に練習しましょう。

毎月一回土曜日。詳細電話にて。
日時 7月22日(土) 昼1時半
場所 下谷保地域防災センター
連絡先 大塚 070(5357)1459

くにたち国際友好会 WING

7月の異文化コミュニケーションの会は、一橋大学留学生のワオデイ・イステイコマーさんにインドネシアの歴史・文化・諸事情について紹介していただきます。

日時 7月20日(木) 夜6時半
場所 一橋大学 国際交流会館
連絡先 和田 090(349)2110

〈サークル訪問310〉 太鼓たたいて健康に!

部屋の中央にアフリカ起源の珍しい太鼓が何種類も、その周りを取り囲んで15名ほどのメンバーの方たちが椅子に腰かけている。「一緒にどうぞ」とのお誘い、体験することになった。

賈川治樹先生から「太鼓をたたくと免疫力が高まって健康になり、意識を集中するので認知症予防、ストレス発散にも効果がある」とのお話。まずは、ウォーミングアップから。互いの肩をもみ、体をほぐし、声を出し、手拍子をとる。

そして、いよいよ各々好きな太鼓を選んでたたき始める。ドンドン、トン、タッタタ。主張するよくな大きな音、つましやかな音、懐かしい音、いろいろな音色が重なり合って響きあい、まるで会話をしているかのよう。後半には、目を閉じ、室内も暗くして、当日の天気を表現することになった。思い思いに太鼓をたたき、手拍子で雨の音も表現し、いつの間にか現実から離れ太鼓をたたくことだけを考えている。音が徐々に小さくなり、目を開けると、すーっと心も体も軽く感じられた。

最後に、メンバーが気持ちを語る時間がある。



皆さま、すっきり元気になったご様子。



「宇宙から戻ってきたような不思議な気持ち」「昔の楽しい思い出がいくつも浮かんで幸せ」「皆のリズムが収斂されて合意に達する、これこそ民主主義」等々。

賈川先生の「太鼓をたたくことはコミュニケーションの一つ。リズムを通して意識の共有につながり、お互いを認めながら尊重しあうこと。それは命が喜ぶこと」との言葉が忘れられない。古代からある太鼓という楽器の奥深さ、不思議さに魅了された時間であった。

会員募集中、初心者大歓迎!

日時 月曜不定期 昼1時半～3時
場所 郷土文化館
連絡先 湯本(576)0542

〈文・写真 高木裕子〉